



ユニクロ京都河原町店

- ☞ 所在地：京都市中京区河原町通三条下ル大黒町 58 番地
- ☞ 業 態：小売業（衣料品販売）
- ☞ 設置者：東宝株式会社
(東京都千代田区有楽町一丁目2番2号)
- ☞ URL：https://www.uniqlo.com/jp/ja/



<地域・社会貢献に対する取組方針>

服を楽しむためには、毎日を安心して過ごせる社会の存在が欠かせません。ユニクロは世界中のコミュニティと連携しながら、地域社会へ貢献する活動に取り組んでいます。

◆地域・社会貢献の取組

～京の魅力をも、地域とともに～

◆「京都ゆにくろ」としての取組

ユニクロ京都河原町店が2019年にオープンするにあたり、地域の方に長く御愛顧いただけるよう、「京都ゆにくろ」と題して、地域と連携した取組を行うとともに、京都の魅力を発信しています。



■取組事例

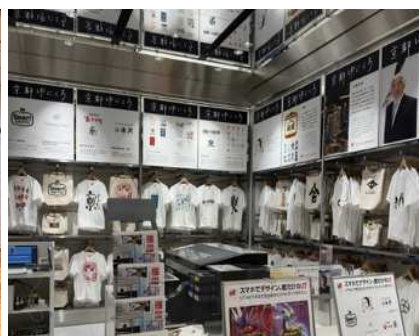
ユニクロ京都河原町店は、京都の魅力を発信する地域密着型の店舗として、地域の企業様とコラボレーションし、企業としての京都への思い等をまとめた展示を行っています。

また、「UTme!」というオリジナルのTシャツやトートバッグなどが作れるサービスにおいて、企業のロゴが入ったアイテムを作成し販売することで、地域の企業や伝統ある店舗を紹介させていただいています。

■成果・効果

展示スペースは3階の一角に設置していますが、お客様にもよく足を止めていただいております。時折、紹介している企業や店舗等に関する質問を受けることもあります。

また、「UTme!」については、現在15～20社の地元企業様に御登録をいただいております。各社様からは、「登録してよかった」「社内イベントで自社のロゴ入りTシャツを使うと盛り上がる」等と大いに喜んでいただいているほか、外国人観光客の方にも非常に好評をいただいております。



■今後について

これまで、京都の観光や魅力発信というテーマに寄せて情報発信をしてきましたが、これからは、文化的な意味合いも持たせた情報発信をしていきたいと考えています。

また、京都をリードされている企業様や文化的な会社様とコラボして、「京都の魅力再発見」をテーマに、皆様に楽しんでいただけるような取組に努めて参りたいと考えています。

～新感覚のごみ拾いで、街も心も綺麗に～

◆次世代教育活動（スポ GOMI x UNIQLO）

『海洋ごみ』による環境汚染が話題になっていますが、実は、その7～8割は、私たちの暮らす街から流れ出たものと言われています。身近な街をきれいにするには、海洋ごみを減らすための大切な一歩と考え、この取り組みをスタートさせました。

従来のごみ拾いにスポーツのエッセンスを加え、チームのメンバーと制限時間内にゴミを拾い、その量と種類でポイントを競います。お揃いのユニフォームに身を包み、頭と体を使って街をきれいにする新感覚のごみ拾いです。

※スポ GOMI は、一般社団法人ソーシャルスポーツイニシアチブによって2008年から運営されている活動です。

■取組に当たり工夫した点

開会式や選手宣誓、表彰式等を実施することで、単なるボランティア活動ではなく、「スポーツ」としての意味合いや「競技性」を確保できるようにしました。

■成果・効果（参加者の声）

16チーム、46名に参加いただき、24.52kgのごみを拾うことができました。

約半数がお子様連れの御家族であり、実際の参加者からは、「子どもはゲーム感覚でとても楽しかったようです。また次はないのかと聞かれました。子ども達は普段ごみ問題に関わる事が少ないと思いますが、この取組で少しは学んだことや感じたことがあったと思うので、とても良かったです。」との声をいただきました。

また、参加した店舗スタッフからも、「まちが綺麗になって嬉しい」「他のボランティア活動とは異なり、楽しみながらゴミ拾いできた」との声を伺っています。

■今後について

ユニクロ京都河原町店では2021年にこの取組を行い、2022年は他店舗で同様の取組を行いました。今後も全国のユニクロ店舗でこの取組を続けていく予定であるため、もう一度当店で実施できる機会があれば、是非とも実施したいと考えています。

また、活動後、この取組に興味を示す声がとても多くあったため、次回は周知期間をもっと長く確保して、より多くの方々に参加していただきたいと思います。



取材者ひとこと

日本を代表するアパレル企業として、世界的に有名なユニクロさん。多くの方が商品を購入されたことがあるのではないのでしょうか。

不要になった衣料品を店舗で回収し、難民キャンプや被災地への緊急災害支援として、世界中の人たちへ届けたりリサイクルしたりする取組だけでなく、各地域に密着、連携した様々な社会貢献活動に取り組まれています。

今後も様々な企業とコラボレーションして、京都の魅力をより一層発信していただけることを期待しています。